

◆ 市民との協働の森づくり(放置竹林対策の推進)

資料1

1 協働の目的

放置竹林については、全国的な課題となっており、これまで国の森林・山村多面的機能発揮対策交付金を活用して、地域ごとに民間の団体が点的な活動を進めてきた。熊本市では、これらの取組を面的に拡大させるとともに、地域として継続的な取組とするため、市民と行政の協働による対策を推進する体制を整備し、熊本市全体の取組として積極的に対策を展開する。

2 今回の取組みについて

民間団体の横のつながりや民間と行政の連携を強化するため連絡会議を設置。

<会議の役割>

- ・民間団体が竹林整備に取り組む上での課題の抽出と解決策の検討
- ・情報共有、研修会の開催

(竹林整備の手法、労働力確保のための工夫等、補助事業、民間助成金、森林環境譲与税の活用)

- ・熊本市の森林の整備・活用に関する意見交換

3 会議構成員(予定)

【会 員】

- ・森林・山村多面的機能発揮対策事業の実施団体
- ・熊本市:環境共生課(生物多様性等環境保護の側面から支援)

まちづくりセンター(地域の各種団体の横のつながり支援、竹林の地域活用・11センター)

【オブザーバー】

- ・学識経験者(予定)
- ・熊本県森林組合連合会
- ・熊本県(森林保全課・林業振興課)

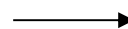
【事務局】

熊本市農業政策課森づくり推進室

4 想定される課題と対応方法等

<課題例>

- ①伐採した竹が搬出できず、林地の有効活用に支障
- ②伐竹等の林地整備は重労働で、取組人員が減少



<対応方向案>

- ①竹粉碎機等の導入の検討
- ②PR強化や労働力確保対策の検討